

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

別紙4

					担当課	環境政策課	
一般会計		款	総務費	項	環境交通対策費	目	環境対策費
対象事務事業名	アユモドキが棲み続ける環境保全事業					施策概要	67ページ
目的	事業の目的は何か		亀岡市の環境のシンボルであるアユモドキが棲み続ける環境を保全する				
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か		■直接実施 ■業務委託 □指定管理 ■補助金支給 □その他()				
	目的達成のために行った活動とその実績は何か		◇天然記念物緊急調査検討委員会開催(2回) ◇アユモドキ緊急調査業務委託 ・在来魚の低水温期における生息状況調査 ・在来種の脅威となる外来魚駆除調査 ・在来種魚類の分布状況調査(資料収集及び分析) ・桂川支流における在来種魚類の分布状況調査 ◇亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会補助				
成果	目的に対する成果は何か		地元自治会、農業団体、有識者、NPO、行政機関等関係団体と協働して、アユモドキの生息環境を保全した。 ◇平成24年9月の推定個体数(京都大学大学院岩田教授の調査結果) ・当歳魚 24.6±4.8尾、2歳以上 547.6±171.2尾 ◇外来魚駆除数 ・オオクチバス 202尾、ブルーギル 460尾 ◇渇水場所でのアユモドキ救出数 ・ダム起立時 147尾、ダム倒伏時 94尾 ◇桂川支流における分布状況 ・生息河川では、桂川合流点から約2km上流まで生息を確認した。 ・生息河川以外の支川ではアユモドキは確認されていない。				
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明			
		補助金	500,000	亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会運営補助			
		委託料	3,517,500	アユモドキ等在来魚種の生息状況、外来魚駆除調査等			
		その他事務費	570,957	事務用消耗品、緊急調査検討委員会委員報酬等			
		計	4,588,457				
	事業に携わった職員数は	0.75人 ×@7,300,000=	5,475,000				
		※					
		合計 10,063,457					
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明			
		国庫補助金	2,000,000	天然記念物緊急調査事業補助金			
		府補助金	1,129,000	みらい戦略一括交付金			
		計	3,129,000				
課題・方向性	今後の課題は何か		アユモドキは絶滅危惧種ⅠAに指定され、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い魚であり、次のような課題があります。 ◇外来魚対策や救出活動等のための人員や財源の確保 ◇絶滅リスクの分散 ◇愛護のための意識啓発				
	今後の方向性はどうか		生息環境の保全に向けた外来魚対策や救出活動等の実施継続を基本に、国・府・市の役割分担を明確にしながら、スタジアム建設を契機として「生息域・繁殖域の拡大」「保険としての生息域外保全」などを進めたいと考えています。				

※職員の平均人件費を参考数値として示している

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

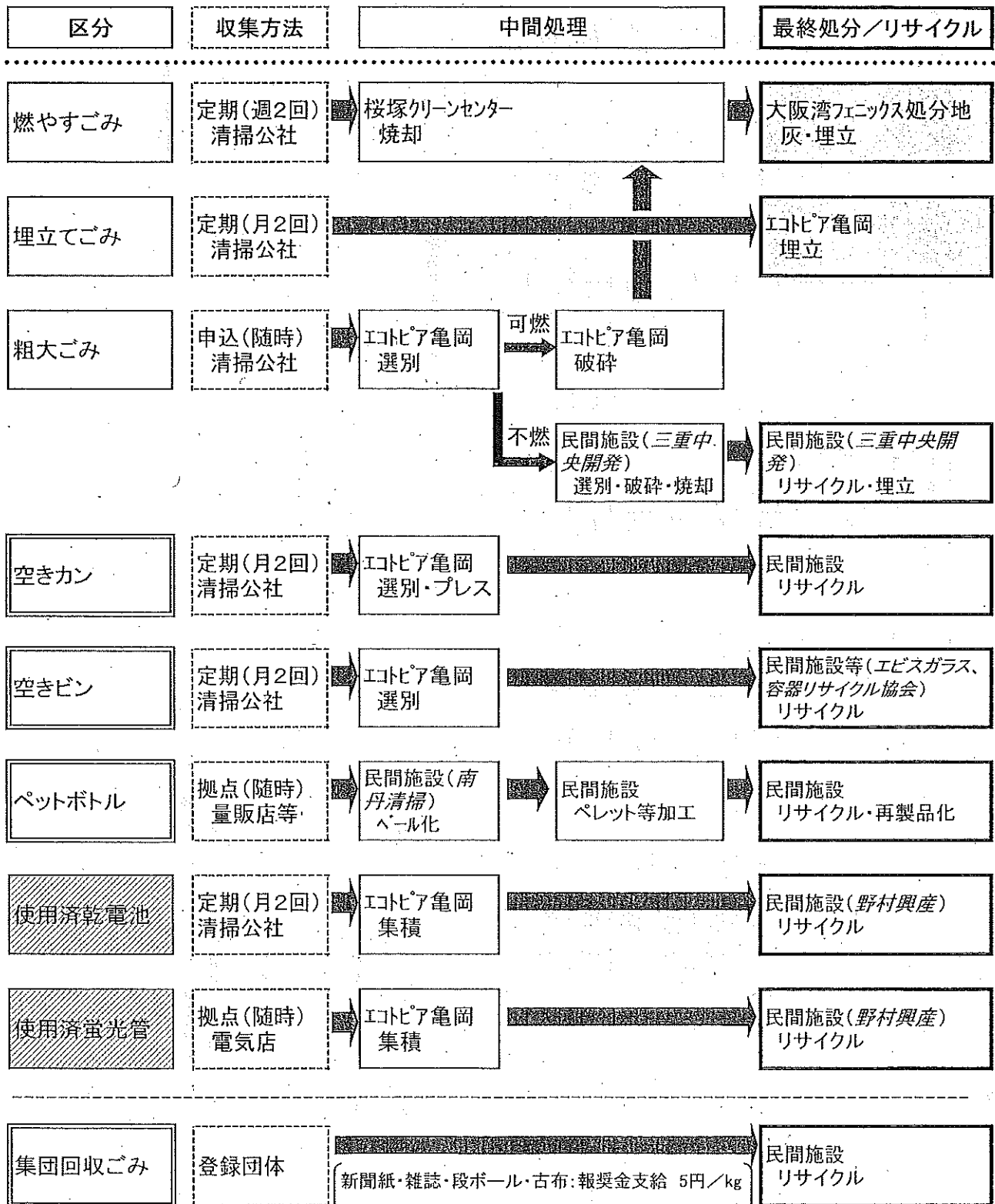
					担当課	環境クリーン 推進課
一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
対象事務事業名	ごみの減量・資源化等推進事業				施策概要	77ページ
目的	事業の目的は何か	3Rの推進を図り、資源循環型のまちづくりを推進すること。				
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金支給 ☐ その他()				
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	○ 3Rを推進するため、ごみの分け方、出し方のパンフレットを改定し全戸配布するとともに、市ホームページに掲載。市民、事業者、行政の協働によるクリーンかめおか推進会議の活動。 ○ 分別収集(4分類13品目)を実施し、資源物のカン・ビン、アルミ製品等については売却。 ○ ペットボトルについては、拠点回収を実施。 ○ 地域の団体などで実施されている資源ごみ集団回収に報奨金を交付。 ○ 生ごみ処理機器の購入、集じん箱の設置に対する補助金を交付。 ○ クリーンかめおか推進会議の活動事業に対する補助金を交付。 ○ 分別収集品目の拡大を検討するためプラスチック製容器包装等のモニター収集を、旭町、東本梅町、大井町の一部地域で実施。				
成果	目的に対する成果は何か	○ 平成24年度ごみ排出量については、前年度と比較して1.4%(390.67t)の減。 ○ 平成24年度末資源化率については、前年度と比較して0.4%の増。				
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明		
		缶プレス運搬委託料	1,470,000	委託料(業務委託料) @21,000/1回×70回		
		ペットボトル収集委託料	11,483,304	委託料(業務委託料) @26,250/1回×12回 @90.30/kg×123,680kg		
		資源ごみ集団回収報奨金	17,183,200	負担金補助及び交付金(補助金) @5円/kg×3,436,640kg		
		減量・資源化等推進事業費補助金	850,400	負担金補助及び交付金(補助金) 処理容器8基37,400円、 電気式処理器11基220,000円、 集塵箱13基593,000円		
		クリーンかめおか推進会議補助金	1,350,000	負担金補助及び交付金(補助金) 街頭啓発経費269,850円、環境フェスタ経費340,227円、 機関紙発行3回239,668円、 総会開催経費91,585円、 事務費等408,670円		
		ごみ分別拡大・資源化の調査研究	1,678,950	委託料(業務委託料) プラスチック製容器包装処理業務委託料898,800円、仮設ストックヤード設置業務委託料286,650円、 ストックヤード建設調査設計委託料493,500円		
		計	34,015,854			
	事業に携わった職員数は	0.98人 ×@7,300,000=	7,154,000			
合計						41,169,854

財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明
		府支出金	839,000	みらい戦略一括交付金 概ね1/2
		計	839,000	
課 題 方 向 性	今後の課題は何か	分別品目の拡大、資源化に対する市民意識の高揚		
	今後の方向性はどうか	ごみ処理基本計画に定める目標値達成に向け、市民意識の高揚を図ると共に、様々な施策を展開する。 ・ごみ減量化の目標値 11.0%の削減(平成34年度、平成21年度比) ・資源化率の目標値 21.0%(平成34年度)		

ごみ処理と減量化の状況

環境クリーン推進課
25/9 決算特別委員会(分科会)説明資料

1 ごみ収集・処理の体系(家庭系)



資源ごみ 有害ごみ

2 年度別ごみ収集量

(単位：t)

区 分	燃やすごみ	前年比	埋立ごみ	前年比	粗大ごみ	前年比	資源ごみ	前年比	有害ごみ	前年比	合 計	前年比
H15年度	26,157.51	-	2,563.70	-	417.96	-	3,657.33	-	12.73	-	32,809.23	-
H16年度	24,653.59	△5.7%	2,804.87	9.4%	1,706.83	308.4%	4,348.99	18.91%	12.78	0.4%	33,527.06	2.2%
H17年度	24,085.04	△2.3%	2,798.81	△0.2%	469.37	△72.5%	4,558.00	4.81%	15.42	20.7%	31,926.64	△4.8%
H18年度	23,749.04	△1.4%	2,502.98	△10.6%	361.84	△22.9%	5,060.92	11.03%	16.25	5.4%	31,691.03	△0.7%
H19年度	23,458.77	△1.2%	2,373.91	△5.2%	437.84	21.0%	5,053.71	△0.14%	16.53	1.7%	31,340.76	△1.1%
H20年度	22,411.77	△4.5%	2,015.64	△15.1%	314.14	△28.3%	4,907.23	△2.90%	14.71	△11.0%	29,663.49	△5.4%
H21年度	21,826.68	△2.6%	1,989.00	△1.3%	306.33	△2.5%	4,600.51	△6.25%	13.76	△6.5%	28,736.28	△3.1%
H22年度	21,425.62	△1.8%	2,359.31	18.6%	423.97	38.4%	4,652.84	1.14%	14.23	3.4%	28,875.97	0.5%
H23年度	21,474.82	0.2%	2,030.95	△13.9%	307.75	△27.4%	4,656.12	0.07%	14.23	0.0%	28,483.87	△1.4%
H24年度	21,137.80	△1.6%	1,893.01	△6.8%	315.11	2.4%	4,731.67	1.62%	15.61	9.7%	28,093.20	△1.4%

N

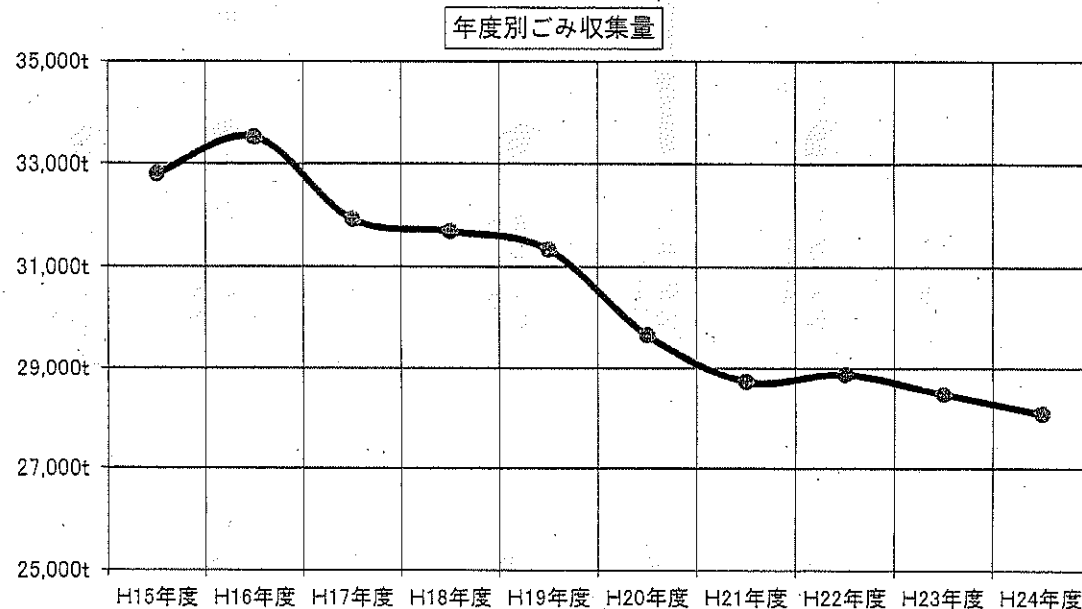
※1 燃やすごみ＝家庭系ごみ＋事業系ごみ＋その他ごみ

※2 埋立てごみ＝家庭系ごみ＋事業系ごみ＋その他

※3 資源ごみ＝カン＋ビン＋ペットボトル＋集団回収

※4 粗大ごみ＝家庭系ごみ＋事業系ごみ＋その他ごみ

※5 有害ごみ＝使用済乾電池（収集量＋持込み量）
＋使用済蛍光管（回収量＋持込み量）



3 減量・資源化の取組

(1) 資源化量

(単位：t)

区 分	カ ン	ビ ン	ペ ッ ト ル	集団回収	不 燃 性 粗大ごみ	有害ごみ	合 計	H15年度比	資源化率
H15年度	332.52	764.21	78.49	2,308.64	108.57	9.97	3,602.40	0.00%	10.98%
H16年度	300.57	684.77	105.17	3,019.91	106.45	10.00	4,226.87	17.33%	12.61%
H17年度	297.82	677.45	102.48	3,258.72	107.54	15.00	4,459.01	23.78%	13.97%
H18年度	266.88	685.21	120.75	3,757.08	106.53	23.20	4,959.65	37.68%	15.65%
H19年度	230.25	662.48	131.90	3,756.42	106.57	15.00	4,902.62	36.09%	15.64%
H20年度	214.27	628.00	137.28	3,678.19	74.01	15.67	4,747.42	31.78%	16.00%
H21年度	217.06	614.76	136.64	3,397.77	58.18	11.87	4,436.28	23.15%	15.44%
H22年度	199.56	618.70	151.00	3,441.74	50.94	16.95	4,478.89	24.33%	15.51%
H23年度	193.64	626.66	144.88	3,396.82	51.34	11.83	4,425.17	22.84%	15.54%
H24年度	198.69	634.00	127.02	3,436.64	46.37	16.87	4,459.59	23.79%	15.87%

※1カン・ビン＝販売量＋指定法人ルート分

※2有害ごみ＝使用済乾電池＋使用済蛍光管（再生資源化量）

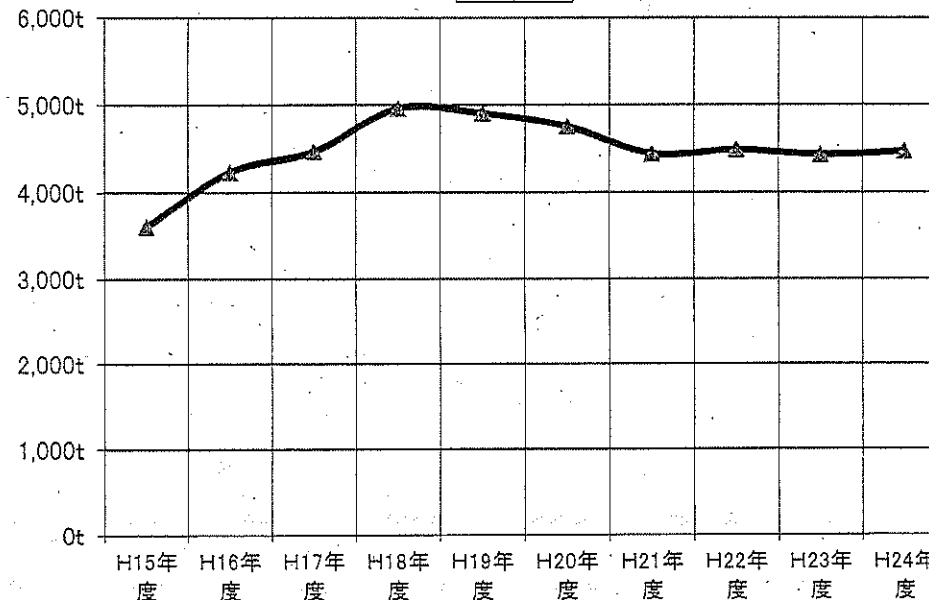
注）有害ごみは、再生資源化量を計上しているため、
2.年度別ごみ処理量の数値とは異なる。

※3資源化率＝資源化量÷年間ごみ処理量

○ これまでの主な施策

年 代	主 な 事 柄
S59年度	・有害ごみとして使用済み乾電池分別収集開始
H 2年度	・資源ごみ（カン類・ビン類）分別収集開始
H 5年度	・集じん箱等設置事業補助金交付要綱制定
H 9年度	・ごみ減量・リサイクル機器購入費補助金交付要綱制定
H12年度	・ペットボトルの拠点回収開始
H14年度	・資源ごみ集団回収報奨金制度創設（H15年1月）
H15年度	・不燃性粗大ごみ有料戸別回収開始 ・家庭ごみ有料指定袋制開始（9月）
H18年度	・小学校ペットボトル回収開始
H20年度	・使用済み蛍光管拠点回収開始（12月）
H23年度	・スプレー缶の資源化処理試行開始（4月）
H24年度	・プラスチック製容器包装モニター収集実施（8月～3月）

資源化量



(2) ごみ減量・資源化推進事業補助金

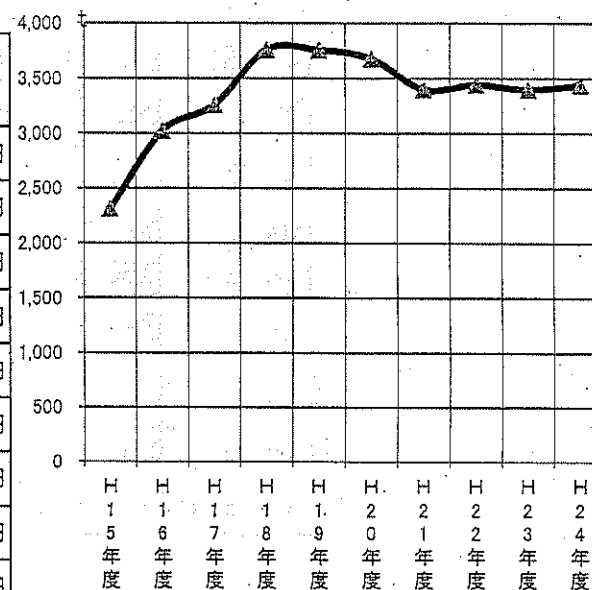
区 分	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	合 計
	基数 補助額	基数 補助額	基数 補助額	基数 補助額	基数 補助額	基数 補助額	基数 補助額	基数 補助額	基数 補助額	基数 補助額	基数 補助額
生ごみ処理容器	48基	24基	24基	26基	26基	31基	19基	16基	8基	8基	230基
	125,200円	69,600円	99,400円	85,300円	106,400円	114,700円	67,300円	71,400円	38,700円	37,400円	815,400円
生ごみ処理機	356基	72基	62基	59基	40基	17基	18基	18基	10基	11基	663基
	10,409,600円	1,283,800円	1,226,600円	1,170,400円	800,000円	340,000円	360,000円	360,000円	200,000円	220,000円	16,370,400円
集じん箱等設置補助	55基	16基	9基	11基	22基	10基	12基	10基	26基	13基	184基
	2,677,000円	789,000円	450,000円	507,000円	1,043,000円	484,800円	576,000円	496,000円	1,258,000円	593,000円	8,873,800円
計	13,211,800円	2,142,400円	1,776,000円	1,762,700円	1,949,400円	939,500円	1,003,300円	927,400円	1,496,700円	850,400円	26,059,600円

(3) 資源ごみ集団回収報奨金（平成15年1月から）

資源ごみ（新聞紙・雑誌・ダンボール・古布）を集団回収（要団体登録）した場合に報奨金を交付

区 分	交付団体	対象品目				回収量	報奨金 交付額
		新聞紙	雑 誌	ダンボール	古 布		
H15年度	延べ276	1,483,250kg	466,250kg	243,465kg	115,675kg	2,308,640kg	16,160,480円
H16年度	延べ358	1,912,860kg	603,014kg	349,490kg	154,547kg	3,019,911kg	21,139,377円
H17年度	延べ385	2,074,570kg	632,380kg	393,500kg	158,274kg	3,258,724kg	22,811,068円
H18年度	延べ403	2,347,488kg	745,225kg	468,594kg	195,770kg	3,757,077kg	18,359,898円
H19年度	延べ411	2,329,410kg	737,560kg	486,940kg	202,507kg	3,756,417kg	18,782,085円
H20年度	延べ417	2,266,100kg	726,310kg	487,910kg	197,870kg	3,678,190kg	18,390,950円
H21年度	延べ424	2,068,890kg	665,720kg	467,250kg	195,910kg	3,397,770kg	16,988,850円
H22年度	延べ436	2,071,110kg	684,970kg	483,040kg	202,620kg	3,441,740kg	17,208,700円
H23年度	延べ436	2,007,940kg	690,950kg	483,105kg	214,695kg	3,396,690kg	16,983,450円
H24年度	延べ466	2,050,530kg	679,010kg	496,170kg	210,930kg	3,436,640kg	17,183,200円

資源ごみ集団回収



4 桜塚クリーンセンターごみ質分析結果

年 度		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
項 目												
ごみの種類組成(%)	湿ベース	紙類	42.51	42.20	41.56	39.12	41.80	33.44	35.41	40.46	40.40	42.69
		繊維類	8.36	9.69	12.80	8.30	2.04	6.79	6.00	7.38	8.71	6.15
		ビニール、プラスチック	16.56	17.05	13.20	15.19	17.71	23.45	22.54	22.72	20.56	21.68
		ゴム類	0.00	0.09	0.08	1.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		皮革類	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.63
		木、竹、わら類	9.97	8.89	9.69	5.67	12.08	11.62	3.01	6.88	9.55	5.08
		ちゅう芥類	20.65	14.08	16.02	22.61	19.01	22.12	28.75	19.25	18.50	20.57
		可燃性雑物類	1.61	4.74	3.50	5.39	5.71	2.03	2.23	1.69	2.28	1.86
		金属類	0.31	0.89	1.90	0.70	0.83	0.37	0.16	0.13	0.00	0.62
		ガラス、陶器類	0.00	0.56	0.60	0.00	0.00	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00
		土砂、石類	0.04	1.84	0.66	0.53	0.83	0.00	1.90	1.49	0.00	0.73
	乾ベース	紙類	48.68	41.29	41.61	42.93	48.51	38.65	45.96	45.12	44.63	46.92
		繊維類	10.55	10.52	16.58	9.58	3.24	7.64	6.74	8.33	9.34	6.31
		ビニール、プラスチック	18.57	21.19	16.01	18.23	21.33	30.12	27.51	26.25	25.72	27.36
		ゴム類	0.00	0.15	0.14	2.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		皮革類	0.00	0.00	0.00	1.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90
		木、竹、わら類	8.82	9.22	9.50	5.49	9.20	10.60	2.85	6.32	7.31	5.23
		ちゅう芥類	11.11	8.53	7.73	14.05	10.85	9.81	11.51	10.35	10.75	9.76
		可燃性雑物類	1.68	4.33	3.56	4.00	4.49	2.28	1.85	1.43	2.25	1.54
		金属類	0.50	1.44	2.92	0.93	1.33	0.64	0.25	0.20	0.00	0.86
		ガラス、陶器類	0.00	1.08	1.03	0.00	0.00	0.27	0.00	0.00	0.00	0.00
		土砂、石類	0.07	2.26	0.86	0.85	1.06	0.00	3.33	2.01	0.00	1.14
単位容積重量 (kg/m ³)		205.3	170.5	176.0	154.8	159.0	215.0	163.5	164.5	181.5	155.0	
生ごみの三成分	水分 (%)	38.43	49.29	43.75	45.42	43.45	42.92	41.22	33.48	39.05	30.89	
	灰分 (%)	5.83	6.79	6.90	5.42	6.07	5.37	6.94	8.89	6.97	8.06	
	可燃分 (%)	55.74	43.92	49.36	49.17	50.48	51.70	51.85	57.64	53.99	61.05	
低位発熱量	(cal/g)	2,278	1,680	1,960	1,940	1,980	2,070	2,088	2,395	2,198	2,560	

搬入量 (t)	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
合計	26,465	25,526	24,434	24,035	23,799	22,658	22,078	21,806	21,745	21,411
紙	11,251	10,772	10,155	9,402	9,947	7,576	7,817	8,822	8,786	9,139
プラスチック	4,383	4,351	3,225	3,651	4,214	5,312	4,977	4,955	4,471	4,642
厨芥類	5,465	3,594	3,914	5,433	4,525	5,013	6,347	4,198	4,023	4,404

5 エコトピア亀岡ごみ質分析結果

2010年8月(夏場)と12月(冬場)に、京都学園大学バイオ環境学部の金川貴博教授(バイオマス高度化利用研究室)らが、スポット調査された報告書から作成しました。

(1) ごみ質調査のため回収したごみの総量

	夏場(都市部)	夏場(山間部)	冬場(都市部)	冬場(山間部)
ゴミの総量(kg)	252.0kg	398.9kg	191.2kg	248.4kg
ゴミの容積(L)	2,208.0L	3,400.0L	2,010.0L	2,310.0L
ゴミ袋の数(袋)	80袋	130袋	67袋	79袋
ゴミ密度(kg/L)	0.11kg/L	0.12kg/L	0.10kg/L	0.10kg/L

(2) 重量ベース

	重量/kg、(重量比/%)							
分別項目	夏場		冬場		都市部		山間部	
プラスチック類	253.6kg	40.2%	162.8kg	36.9%	186.8kg	46.1%	229.6kg	34.5%
金属類	67.6kg	10.7%	57.0kg	12.9%	43.2kg	10.7%	81.4kg	12.2%
ガラス・陶器類	139.3kg	22.1%	66.4kg	15.1%	58.2kg	14.4%	147.5kg	22.1%
小型家電製品	58.6kg	9.3%	37.8kg	8.6%	40.2kg	9.9%	56.2kg	8.4%
玩具・小物・複合物	44.6kg	7.1%	39.8kg	9.0%	38.0kg	9.4%	46.4kg	7.0%
電池	0.0kg	0.0%	0.6kg	0.1%	0.2kg	0.0%	0.4kg	0.1%
その他不燃物	45.2kg	7.2%	26.8kg	6.1%	20.4kg	5.0%	51.6kg	7.7%
可燃物	21.7kg	3.4%	49.8kg	11.3%	18.4kg	4.5%	53.1kg	8.0%
合計	630.6kg	100.0%	441.0kg	100.0%	405.4kg	100.0%	666.2kg	100.0%

(3) 容積ベース

	容積/L、(容積比/%)							
分別項目	夏場		冬場		都市部		山間部	
プラスチック類	6,033.0L	68.0%	4,165.0L	68.0%	4,217.5L	67.6%	5,980.5L	68.3%
金属類	588.0L	6.6%	484.2L	7.9%	367.5L	5.9%	704.7L	8.1%
ガラス・陶器類	570.0L	6.4%	216.7L	3.5%	293.3L	4.7%	493.3L	5.6%
小型家電製品	378.0L	4.3%	262.5L	4.3%	367.5L	5.9%	273.0L	3.1%
玩具・小物・複合物	420.0L	4.7%	367.5L	6.0%	367.5L	5.9%	420.0L	4.8%
電池	0.0L	0.0%	245.0L	4.0%	315.0L	5.0%	432.0L	4.9%
その他不燃物	502.0L	5.7%	0.0L	0.0%	0.0L	0.0%	0.0L	0.0%
可燃物	378.0L	4.3%	385.0L	6.3%	315.0L	5.0%	448.0L	5.1%
合計	8,869.0L	100.0%	6,125.9L	100.0%	6,243.3L	100.0%	8,751.5L	100.0%

ペットボトルの拠点回収 11,483,304円

① 回収量の5カ年の推移

(単位:トン)

	H20	H21	H22	H23	H24	計
市内量販店17箇所	135.31	134.66	149.03	136.41	123.68	679.09
市内小学校18校	1.97	1.98	1.97	8.47	3.34	17.73
合計	137.28	136.64	151.00	144.88	127.02	696.82

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

別紙4

					担当課	高齢福祉課
一般会計		款	民生費	項	社会福祉費	目
老人福祉費						
対象事務事業名	高齢者生活支援経費				施策概要	97ページ
目的	事業の目的は何か		ひとり暮らしや高齢者等の福祉の向上を図るため、各種支援事業を行う。			
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か		☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金支給 ☐ その他()			
	目的達成のために行った活動とその実績は何か		・福祉電話設置事業(直接) 緊急時の連絡手段や安否確認のために電話機を貸与する。 ・緊急通報装置設置事業(委託) 急病や災害などの緊急事態に対応が行えるように緊急通報装置を設置する。 ・寝具洗濯乾燥消毒事業(委託) 在宅で寝たきり状態等にある方が日常生活を快適に遅れるように寝具の洗濯等を行う。 ・安心長寿の福祉助成金(補助金) 上・下水道料金の一部を助成する。			
成果	目的に対する成果は何か		高齢者が住み慣れた地域で自立した生活の継続が可能となる。			
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明		
		福祉電話設置	356,653	11台(通信運搬費)		
		緊急通報装置設置	8,434,068	335件		
		寝具洗濯乾燥消毒	103,950	22件		
		安心長寿の福祉助成金	5,692,778	524件		
		旅費	640	会議出席時旅費		
		需用費	27,060	消耗品費6,920円、自動車燃料費20,140円		
		計	14,615,149			
	事業に携わった職員数は	0.7人 × @7,300,000=	5,110,000	※		
		合計		19,725,149		
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明		
		地域福祉基金繰入金	14,126,846	緊急通報装置設置 安心長寿の福祉助成金		
		福祉電話自己負担金	60,413			
		計	14,187,259			
課題・方向性	今後の課題は何か		高齢者人口の増加により事業経費の増加が予想されるとともに、社会情勢の変化により、その支援も多様化するなか、効果的・効率的な事業内容の調査研究が必要。			
	今後の方向性はどうか		国の施策も在宅生活中心のものとなっていることを踏まえ、高齢者が在宅生活を継続するために必要性の高いサービスであり今後も継続する。			

※職員の平均人件費を参考数値として示している

平成20～24年度 高齢者生活支援経費 各事業 責

事業概要	平成24年度対象者	平成24年度利用料	平成24年度委託料単価等	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
生活援助員の派遣	骨折、退院直後など、一時的に日常動作が困難な在宅のひとり暮らし高齢者をホームヘルパーが訪問し炊事、洗濯、掃除、買い物などの家事サービスを提供する事業です。	65歳以上のひとり暮らし高齢者 (平成23年度)	1時間あたり229円 (週2時間以内・3カ月以内) (平成23年度)		訪問時間数 32時間 利用実人員 3人 65,952円	訪問時間数 53時間 利用実人員 7人 109,233円	訪問時間数 30時間 利用実人員 7人 61,830円	訪問時間数 95時間 利用実人員 11人 177,840円
生活援助事業利用助成金	骨折、退院直後など、一時的に日常動作が困難な在宅のひとり暮らし高齢者が「くらしのサポートサービス」の利用に要した費用の一部を助成する事業です。	66歳以上のひとり暮らし高齢者※	利用料に対する2分の1の額を助成 (1週間に3時間以内・利用期間は6カ月以内)	利用者数 0件 0円				
寝具洗濯乾燥消毒	寝たきり状態の人や尿失禁により、衛生管理が困難な高齢者を対象に、寝具の水洗・乾燥・消毒などのサービスを提供する事業です。	66歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢世帯※	乾燥・消毒126円 洗濯・乾燥・消毒525円 (年12回以内)	乾燥・消毒1,260円 洗濯・乾燥・消毒5,250円	利用延件数 22件 利用者数 9人 103,950円	利用延件数 19件 利用者数 9人 89,775円	利用延件数 27件 利用者数 11人 127,575円	利用延件数 26件 利用者数 12人 122,850円
福祉電話の設置	電話を持っていないひとり暮らし高齢者等を対象に緊急時の連絡手段や安否確認のために、福祉電話を設置する事業です。	66歳以上の重度身体障害者、ひとり暮らし高齢者等で市民税非課税世帯※	毎月300円を超える通話料分	設置件数 11件 登録件数 11件 356,653円	設置件数 18件 登録件数 18件 468,935円	設置件数 26件 登録件数 26件 706,346円	設置件数 26件 登録件数 26件 823,431円	設置件数 27件 登録件数 35件 815,257円
緊急通報装置の設置	ひとり暮らし高齢者の身の上に、急病や災害等の緊急事態が起こった場合に、高齢者の不安を解消し、迅速かつ適切に対応するため、緊急通報装置を設置する事業です。	66歳以上のひとり暮らし高齢者※	無料(通話料は負担)	1ヶ月2,100円(平成24年度プロポーザルにより契約) ○平成23年度単価1ヶ月2,835円	設置件数 335件 新規設置者 45件 廃止者数 46件 8,434,068円	設置件数 336件 新規設置者 49件 廃止者数 52件 11,631,881円	設置件数 341件 新規設置者 48件 廃止者数 62件 13,175,330円	設置件数 355件 新規設置者 61件 廃止者数 32件 12,786,412円
安心長寿の福祉助成金	ひとり暮らし高齢者等の福祉の増進を図るため、上・下水道料金などに要する費用の一部を助成する事業です。	66歳以上のひとり暮らし高齢者で市民税非課税世帯※	水道料金は基本水量を16立方メートルで換算した基本料金の2分の1の額、下水道使用料は基本料金の2分の1の額(平成23年度まで下水道使用料は基本料の全額)		申請件数 526件 該当件数 524件 5,692,778円	申請件数 509件 該当件数 509件 8,769,171円	申請件数 474件 該当件数 466件 7,512,080円	申請件数 421件 該当件数 411件 6,279,350円
高齢者住宅用火災警報器設置費補助金	火災から高齢者の生命及び財産を守るため、住宅用火災警報器の購入経費を助成します。(平成23年5月末まで)	65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯で市民税非課税世帯	5000円を限度に購入費用の1/2		申請件数 116件 該当件数 112件 404,800円	申請件数 96件 該当件数 91件 362,830円	申請件数 60件 該当件数 55件 225,010円	
亀岡市高齢者自立支援住宅改修費補助金(特定高齢者住宅改修補助金)	自宅における転倒等により要支援又は要介護状態にならないよう、特定高齢者等が実施する住宅改修費に要する経費を助成します。	65歳以上で介護認定を受けていない二次予防対象者で市民税非課税世帯	16万円を限度に工事費の2/3		申請件数 0件 該当件数 0件 0円	申請件数 4件 該当件数 4件 303,000円	申請件数 0件 該当件数 0件 0円	
事業費合計					14,587,449円	21,733,514円	21,993,394円	20,298,883円

※平成23年度までは65歳以上が対象。平成24年度から毎年1歳づつ、平成28年度に70歳まで引上げ。